



イズミル経済大学とのデザインワークショップ

学長特別研究成果報告書 | 配分研究費：773千円（平成27年度）

## 専門科目への英語教育導入に関する研究

### 目的・概要

静岡文化芸術大学の国際的人材教育の充実を図るため、「専門科目に対しての実践的な英語教育プログラムの開発と学習ツール（教科書）の作成を行った。学内における専門科目への英語プログラムや産学共同国際ワークショップの活動において教材実験を行い、これによって得られたデータをベースとして、専門英語教育に必要なデザイン英語テキストを作成した。（平成28年7月出版）

### 期間

平成27年4月1日～平成28年3月31日

### 研究担当者

デザイン学部	デザイン学科	教授	高山 靖子
デザイン学部	デザイン学科	教授	峯 郁郎
デザイン学部	デザイン学科	准教授	服部 守悦
デザイン学部	デザイン学科	准教授	亀井 暁子
文化政策学部	国際文化学科	准教授	Jack Ryan
文化政策学部	国際文化学科	准教授	Edward Sarich
英語・中国語教育センター		特任講師	高瀬 奈美

### スケジュール

平成27年4月～9月 両学部コラボレーションデザインプログラム  
 平成27年4月～9月 海外(トルコ)大学とのコラボレーションプログラム  
 平成28年3月 国際会議において研究発表 (ISASE2016)  
 平成27年4月～平成28年3月 デザイン英語テキスト原稿作成



トルコの新聞で本交流事業が掲載されました

### 研究成果

前研究で開発した専門科目への英語教育導入のための実験プログラムや海外の大学とのコラボレーションプログラムで得られたデータを基に、プログラムを実行するための英語学習ツールとして、デザインに特化した英語テキストを作成した。グローバル企業出身の実務家教員の多いデザイン学部とネイティブスピーカーの所属する文化政策学部教員の協働により、デザイン開発業務に関わる場面において活用できる内容とした。

このことによって、デザイン系学生のみならず、グローバルなデザイン開発に必要とされる英語テキストとなった。

これは、平成28年7月末に株式会社南雲堂より出版され、全国の大学においてテキストとして活用されるとともに、一般書店でも実用書として販売され、デザイン開発に携わる一般の人々にも英語学習の一助となった。



DESIGN ENGLISH 表紙

### 今後の研究成果の還元方法

これまでに、本研究で行ってきたプログラムとその成果について論文発表を行ってきたが、今後も発展的にプログラムを行う予定であるため、これまでの成果を基にその手法についても継続的に実験を行い、この内容や成果について論文発表等を通じて情報発信を行う。

また、作成したデザイン英語テキストは、平成28年春に出版予定であり、デザイン系に限らず特徴的な英語学習テキストとして様々な大学で活用されるほか、グローバル企業で活躍するデザイナーの英語教育ツールとしてもおおいに貢献できると考える。